

# 「秘境駅フェスタ 2016 in ほろのべ」

【9/10(土)】

## ◆世界秘境駅シンポジウム

幌延町は、秘境駅の数が6駅と全国の自治体の中で最多で、これらの秘境駅を活用したまちづくりを進めるため、さまざまなプログラムを通して、鉄道に関する知識を楽しく学び、ご意見・ご提案をいただく機会となりました。

### ■基調講演：富岡達彦氏

「旅人宿&田舎食堂・天塩弥生駅開業  
～旧深名線 廃線・廃駅の果てに…～」

昔、駅は人で賑わい活気に満ち満ちていましたが、そうしたコミュニティの場を復元したく、人との出会いやタイミングにも恵まれ「旅人宿」を開業しました。

鉄道は無くなるとそこで終わりであり、鉄道について、地域や愛好家を交えた多角的な議論を深めてほしいと話され、鉄道と同じように人と人の繋がりを紡いでいくことの大切さを教わりました。



### ■トークショー「鉄道談義」:

富岡達彦氏・南田裕介氏・久野知美氏

「わたしと鉄道・鉄道おもしろエピソード」

テレビでもお馴染みの鉄道BIG 4 南田裕介さん、鉄道大好きアナウンサー久野知美さんを中心におもしろエピソードが展開!

久野さんは鉄道に親しむきっかけや鉄道の魅力、秘境駅は幌延で魅力を知ったことなどを話されました。

また、中学2年生から秘境駅好きという南田さんは、「駅ノート」の存在が秘境駅の新しい楽しみ方を教えてくれたと話され、これまでの経験上の「秘境駅あるある」ネタで会場は笑いの渦に…。

### ■パネルディスカッション「鉄道座談会」

～どうなる? どうする? 宗谷本線～

これまでのゲストに加え、富岡氏の奥様、井上仁志観光大使、幌延町長なども加わり、鉄道を取り巻く環境が厳しさを増す中、有効なアイデアなどを話し合いました。

#### 【アイデア・ご意見など】

- ・都会から来ると、「何もない、真っ暗」に値打ちがあり、千葉県の子セク鉄道では「ここには何もないがあります。」をキャッチフレーズに観光客を呼び込み、都会人のニーズを取り込み地域経済に波及させている。
- ・トナカイ駅長が魅力的。秘境駅で星空観察会、虫の音色音楽会など、秘境駅の癒し効果企画を…。
- ・迎える側が張り切り過ぎると、来る層も減る可能性があるため、今一度、地域を見つめ直し、再開墾するべきときでは…。無理せず楽しみながら長続きする取組を…。
- ・秘境駅ソングなどの曲を作り、観光大使と秘境駅巡り、聖地巡りなどをSNSなどで魅力発信。
- ・糠南駅で何かのギネス記録に挑戦するなど、幌延に来る機会を提供しては…。
- ・鉄道ファンは地域にお金を落とし貢献したいと思っているので、お金を落とさせる仕組みづくりを考えてほしい。例えば、秘境駅マルシェなど何度も集う仕掛けで幌延応援団を増やすなど…。
- ・「おひとり様歓迎!」ステッカーを町内飲食店に掲げ、ひとり旅の鉄道愛好家を取り込んでほしい。

#### 【会場からのご意見】

- ・宗谷北線の沿線自治体が連携して取り組んでほしい。

